

## スマートウェイ推進会議開催の趣旨

21 世紀を迎え、高度情報通信分野における先端技術の開発と活用を推進し、新たな経済社会を先導していくことが求められている。

高度道路交通システム（ITS）については、その的確な導入・活用によって、交通事故、交通渋滞、環境負荷の増大などの社会問題の解決が図られるとともに、道路交通を介した社会・経済活動の高度化が進み、人々の生活をより豊かなものとしていくことが期待されている。

このITSの効果を総合的に発揮させるための、多様なITSサービスを汎用的に実現させる共通基盤(プラットフォーム)が必要である。国土交通省では、そのような視点から、先端的なITS技術を統合して組み込んだ高度な道路交通の受け皿となる次世代の道路として、「スマートウェイ」を実現することとしている。

スマートウェイの推進にあたっては、「スマートウェイ推進会議」において産学官の幅広い見地からご検討を賜り、平成 11 年に提言「スマートウェイの実現に向けて」をいただいたところである。

国土交通省では、提言を受け、スマートウェイの実現に向けた様々な取り組みを進めてきたが、社会経済情勢の変化はめまぐるしく、ITSの個々のサービスが現実化するとともに、情報通信技術のめざましい発展を受け、既存ストックの有効利用・高度利用の視点にも立ち、ITSが真に社会的な課題の解決に貢献する、セカンドステージともいふべき状況に至っている。

そこで、セカンドステージのITSの進め方について、新たな提言を賜るべく、同会議を開催することとした。